

平成 22 年 6月 補正予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

No.	事業名(予算の事務事業名)				区分
7	放課後児童健全育成事業				新規 拡大 継続
会計区分	款	項	目	所管	
一般会計	3	4	2	子ども未来局 子ども育成部 青少年育成課	
事務事業の位置付け					
しあわせ倍増プラン2009	番号	24-3	事業名	保育所・学童保育所「待機児童ゼロプロジェクト」を推進します。	
総合振興計画新実施計画	事業コード	2213	事業名	放課後子どもプラン推進事業	
根拠法令・条例・規則等	児童福祉法第6条の2				
予算要求事業の概要					
内容	民間団体等と放課後児童健全育成事業委託契約を締結し民設放課後児童クラブの運営委託を行うとともに、民設放課後児童クラブに、施設にかかる家賃を助成します。				
目的・目標	<p><目的> これまで、公設放課後児童クラブのみで、毎年待機児童が出ていた海老沼小学校区内に、民設クラブを開設し、待機児童の解消を図ります。</p> <p><目標> 1 民設海老沼放課後児童クラブ(仮称) 受け入れ可能児童数 40人 2 保育が長時間必要となる夏休みに向けた開設</p>				
現状と課題	<p><現状> 1 海老沼放課後児童クラブ(公設) 待機児童 H21 23人 H22 20人 2 現在、保護者会による開設にむけた準備が進んでおり、施設についても賃貸物件確保の見通しがついています。</p> <p><課題> 1 保護者会による立ち上げであるため、施設確保等の準備経費が増えてくると計画が頓挫してしまう心配があり、できるだけ早い時期での開設が望まれます。</p>				
今後のスケジュール	<p><事業の経過> (受入児童数は、1年生から3年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度末 受入児童数 6,420人 ・平成23年度末 受入児童数 6,780人 ・平成24年度末 受入児童数 7,140人 ・平成25年度末 受入児童数 7,500人 				

2 補正予算要求の理由と効果

要求理由	緊急性	海老沼小学校区内には、民設の放課後児童クラブがなく、公設の海老沼放課後児童クラブでは毎年待機児童がでていました(平成22年4月1日現在で20名)が、このたび事業者が見つかり、夏休み前までの開設を予定しているため補正予算を要求するものです。
	実施義務	根拠法令等
	他市の実施状況	政令市： 県内他市：
効果	対象者	留守家庭児童
	効果	待機児童の解消

3 当初予算、補正予算要求、査定の内容 (単位：千円)

区分	金額	備考	
平成22年度	当初予算	1,427,735	<積算内訳> 1 放課後児童健全育成事業 1,427,735 [主な内容] (1) 公設放課後児童クラブの指定管理者への委託 (2) 民設放課後児童クラブのNPO法人、社会福祉法人等への業務委託及び家賃補助
	財源内訳		
	① 使用料及び手数料	137,520	
	② 国庫支出金	187,293	
	③ 諸収入	4	
	④ 一般財源	1,102,918	
6月補正予算	補正予算要求	6,254	<積算内訳> 1 民設放課後児童クラブ委託料 2 民設放課後児童クラブ補助金(家賃補助)
	財源内訳		
	① 一般財源	6,254	
	財政局長査定	6,254	<査定内容> 1 民設放課後児童クラブ委託料 2 民設放課後児童クラブ補助金(家賃補助)
	財源内訳		
	① 一般財源	6,254	
	市長査定	6,254	<査定内容> 1 民設放課後児童クラブ委託料 2 民設放課後児童クラブ補助金(家賃補助)
	財源内訳		
	① 一般財源	6,254	
	<査定理由> 海老沼小については、待機児童が多く、その待機児童の受け皿となる民設放課後児童クラブがないことから必要な経費であると判断し、6月補正予算に計上しました。		
	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。		